

	重点目標	評価の観点	評価：達成度判断基準	達成状況（考察と改善方針等）
1	基礎・基本の確実な定着 ①つけたい力を明確に持った教育計画 ②見通しをもった校内研修と実践の充実 ③基礎学力の定着のシステムの充実	<成果指標> ・児童アンケートの質問4・5・6の得点が8割を超える。	達成基準＝児童アンケートで全体得点が (A)：80%以上 (83%⇒80%) B：70～80%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	聞く、発表する、書くことの項目で「きれいな字」で書くことが下がった。来年度は「丁寧に書く」児童が増えるように今後も指導の継続をしていきたい。
		<満足度指標> ・「難しいことでも、できるように取り組んでいる」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が A：80点以上 (B)：70～80点未満 (75%⇒78%) C：50～70点未満 D：50点未満	7月より3ポイント上がった。保護者へ取組を周知してきた成果と考えている。児童の結果は89%である。来年度は児童の結果も反映できるようにしたい。
		<努力指標> ・「研修課題を学年の実態に即して具体的に取り組んでいる」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (83%⇒86%) B 70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月より3ポイント上がっている。授業改善の努力とその成果を実感しようと、職員が主体的に取り組んでいる。
2	豊かな人間関係作り・社会性の育成 ①道徳の授業の充実 ②児童の心の耕し ③生活指導の充実	<成果指標> ・「いま、学校は楽しい」と答える児童の得点が8割を超える。	達成基準＝児童アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (91%⇒91%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月と同様に9割を超えていることから良好な数値である。児童の表情の変化に気付くことができるようにアンテナを高くしていく。
		<満足度指標> ・「学校ははじめ・不登校のない楽しい学級づくりに努めている」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (83%⇒86%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月から3ポイント上がっている。今後も未然防止とともに組織的な初期対応を行っていく。
		<努力指標> ・「子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導に取り組んでいる。」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (93%⇒91%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	9割を超えている。終礼や児童理解の会で機を逃さず情報共有を行い、「行動」まで確認し、共通行動している成果だと考える。今後も継続していく。

3	保護者・地域に信頼される学校作り ①開かれた学校 ②情報の公開 ③指導力の向上 ④教育公務員としての自覚	<成果指標> ・「学校は、子どもの事について気軽に相談できる」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (83%⇒85%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月より2ポイント上がった。今後も学校の様子から気になる点をきめ細かく電話等で連絡・相談していく。
		<満足度指標> ・「教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりやホームページ等で分かる」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (81%⇒82%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	毎日の学校HPの更新を今後も継続していく。誤字があるとの指摘があったので防止する体制をつくりたい。
		<努力指標> ・「学級だよりで、学級経営方針や児童の様子を保護者に知らせている」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (86%⇒82%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	保護者の要望があり、年度途中で実施した里海通信を来年度どのように発行していくかを検討していきたい。
		<努力指標> ・「地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (83%⇒86%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月より3ポイント上がっている。里海科・道徳・総合・各教科等でさらに活用していく。
4	プロとしての自分を磨き、子どもに関わりきる教職員 ①健康安全活動の充実 ②体力の向上	<成果指標> ・「指導計画に基づいて、教材教具を適切に整備・管理・活用している」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (88%⇒93%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月より5ポイント上がっており、良好である。コロナ禍では教育課程の実施が最優先であることを常に確認しながら業務にあたってきた成果である。
		<満足度指標> ・「学校は、安全・快適な環境づくりに努力している」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (83%⇒86%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	7月より3ポイント上がった。今後も新しい生活様式の基本は児童の行動であり、自問清掃、整列しての教室移動などの規律の徹底を図っていく。
		<努力指標> ・「学級経営目標や取り組みは、具体的で評価できる内容になっている。」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上 (89%⇒84%) B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	年度末にキャリアパスポートにより児童は目標のふり返りをするが、その際に学級の取組の振返りを行うように働きかける。

5	多忙化改善・業務の効率化 ①働き方改革の意識 ②業務の効率化の推進	<p><成果指標></p> <p>・「自分の業務に見通しを持ち、切や時間を意識して取り組んでいる」と答える教職員の得点が8割を超える。</p>	<p>達成基準＝教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（93%⇒86%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>7月から7ポイント下がっている。7月と比較して行事等も通常通りとなり、多忙化したことが原因と考えられる。軽重を付けた業務遂行を行いたい。</p>
		<p><満足度指標></p> <p>・「業務改善を意識し、業務の効率化を図るための工夫をしている」と答える教職員の得点が8割を超える。</p>	<p>達成基準：教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（83%⇒92%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>7月より9ポイント上がっている。今後も業務の見直しを図るために何のために行うのか目的を常に考えて業務にあたる。</p>
		<p><努力指標></p> <p>・「効率的に業務を行うために、身辺（机まわり）を整理整頓し共有物の扱いにも気を配っている」と答える教職員が8割を超える。</p>	<p>達成基準＝教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（93%⇒81%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>7月と比較して12ポイント下がっている。整理することで自分の業務内容や進捗状況の把握につながる。このメリットを再確認して取り組んでいきたい。</p>